

議員（門 秀俊）

お早うございます。5番、門 秀俊、一般質問させていただきます。

一つ、ゼロカーボンシティについて、一つ、来庁者の駐車場とサービス向上について、一つ、旧庁舎の今後について、以上3点について質問させていただきます。

2020年10月の第203回臨時議会において、菅内閣総理大臣、当時ですが、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言されました。その後「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく、国の総合計画である「地球温暖化対策計画」が2021年10月に5年ぶりに改定され、2030年度において温室効果ガスを2013年度比で46%の削減を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦し続けることが掲げられました。香川県では、2021年10月に「香川県地球温暖化対策推進計画」が策定され、計画の基本目標として、脱炭素社会の実現に向けて地域とともに取り組む地球環境の保全が掲げられています。この計画では温室効果ガス排出量の削減目標として、2025年に2013年度比で33%削減し、長期的には脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを目指すとされています。多度津町においても地球温暖化の影響が生じており、国及び地方自治体の脱炭素社会の実現に向けた動きが加速していることから、2022年3月の多度津町議会第1回定例会において、丸尾町長による施政方針演説で「ひと・くらし・歴史が共生するまち たどつ」の実現に向けて、2050年までに多度津町における二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティに挑戦することを宣言しました。これらを踏まえ、2050年までの脱炭素社会を見据えた再生可能エネルギーの導入可能性や導入方策、導入目標を検討し、今後、着実な脱炭素社会の実現を目指していくため「多度津町再生可能エネルギー導入計画」を策定することとなりました。

それでは質問に入らせて頂きます。一つ、現状、多度津町の取組はどのようになっていますか、お伺い致します。

町長（丸尾 幸雄）

門議員の現状の多度津町の取組についてのご質問に答弁をさせていただきます。本町におきましては、平成12年11月に「環境のまち宣言」を行い「環境マネジメントシステム ISO14001の取得」「多度津町環境基本計画」や「多度津町地球温暖化対策実行計画」これは事務事業編でありますけども。これらを策定し、地球温暖化対策に取り組んでまいりました。現在は当該計画に基づき、地域における良好な環境の創出及び公共施設における温室効果ガス排出量の削減に取り組んでおります。公共施設におきましては、多度津中学校や新庁舎に太陽光発電を導入したほか、平成16年度より住宅用太陽光発電システム設置に補助を行っており、地域への再生可能エネルギーの普及拡大を推し進めております。その他、これまでも環境省が推進する地球温暖化対策である「賢い選択」、いわゆるクールチョイ

スに賛同し、町民や事業者の皆様への情報発信を積極的に行ってまいりました。また、つる性植物を育てることで電気を使わず、天然の涼を得られる緑のカーテンの普及事業は、毎年行っており、今年も新庁舎に場所を移して育成講習会を開く予定としております。本年度は、昨年3月に宣言した「ゼロカーボンシティへの挑戦の宣言」を踏まえ、本年2月に「多度津町再生可能エネルギー導入計画」を策定いたしました。令和5年度には当該計画を基に、町内全域を対象とした実行計画となる「多度津町地球温暖化対策実行計画」これは、区域施策編、の策定を目指しております。以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

有難うございます。次の質問入らせて頂きます。

本町においては、再生可能エネルギーの導入実績が太陽光発電のみであります。これまでの増加以上に太陽光発電の導入を進めていき、国や県の導入に準じ、2030年度に2021年度比で太陽光発電の導入を2倍にするという目標となっておりますが、太陽光発電の補助は、補助がスタートしてどのように推移していますか、お伺い致します。

住民環境課長（石井 克典）

門議員の太陽光発電の補助の推移についてのご質問に答弁をさせていただきます。平成16年度より補助事業がスタートして以降、本補助制度を利用した住宅用太陽光発電システムの設置につきましては、年度平均で約30件、発電量にして約148kWとなっております。平成16年度から平成20年度までの5年間では、合計84件、約336kWとなっております。平成21年度から平成25年度までの5年間では、192件、約885kW。平成26年度から平成30年度までの5年間では、177件、1,038kW。直近の令和元年度から令和4年度の4年間では、本年2月末時点で118件、約523kW。総計で532件、約2,782kWになります。平成24年度以降は、概ね年度合計200kW前後での推移となっており、最も申請件数の多い平成25年度では、300kWを超えております。しかしながら、令和元年度、令和3年度につきましては、再び100kW前後の水準となっており、本年度も概ね同じような水準となる見込みでございます。以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

再質問させていただきます。

補助事業1件当たりの金額は、また、その総額は幾らになっておりますでしょうか、お伺い致します。

住民環境課長（石井 克典）

多度津町の住宅用太陽光発電システム設置に伴う補助金につきましては、1kW当たり3万5,000円、上限が7万円となっております。それと平成16年度から令和3年度末までの補助金の累計額でございますが、4,940万7,000円となっております。

す。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

有難うございます。

次の質問です。一般家庭以外での補助はありますか、お伺い致します。

住民環境課長（石井 克典）

門議員の一般家庭以外での補助についてのご質問に答弁をさせていただきます。現状において、本町の再生可能エネルギーに関する補助と致しましては、一般家庭を対象としたもののみとなっております。以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

再質問させていただきます。

高松市などは公共機関の空き地、屋根などを貸し出して、太陽光システムを付けているということがあります。本町では、そういう検討はございますでしょうか。

住民環境課長（石井 克典）

門議員の再質問に答弁をさせていただきます。先日、高松市の方が発表致しました香東川浄化センター、こちらにP P Aモデル、P P AモデルとはP P A事業者が太陽光発電システム、こちらの方を設置致しまして、その電力を市が買い取るという形で、いわゆる屋根貸しと言われておるものでございます。こういう部分の補助、また、高松市に関しましては、Z E Hモデル、こちらがゼロエネルギーハウスと言われておるものでございまして、建物の省エネ性能を向上し、太陽光発電等の再生可能エネルギーの利用により年間のエネルギー消費量がゼロとなる家、こちらについても国の補助に上乘せをして高松市、また、県においては昨年度から補助を実施しております。また、この件につきましては、先日来、新聞報道で、このZ E Hにつきましては観音寺市、坂出市、三豊市、丸亀市の方が来年度から補助を行いたいということで今議会に予算を計上しているという新聞報道がございます。多度津町についても今年度、策定致しました新エネルギー導入計画、こちらを基に、こういった事業について新たな補助事業等を検討をしてみたいなという風に考えております。ただ、他の答弁でもございましたように、多度津町自体が財政的にかなり厳しい状況にあるということについては、当分の間、余り変わらない状況にあると考えられますので、出来るだけ国の補助等を活用した中で、出来るだけこういった、補助事業についても前向きに取り組んでみたいという風に考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

有難うございます。

次の質問に入ります。蓄電池の補助事業は今後考えられていますか、お伺い致します。

住民環境課長（石井 克典）

門議員の蓄電池の補助事業に対する今後の考え方についてのご質問に答弁をさせていただきます。現在、本町では蓄電池の補助事業を行ってはおりませんが、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、また、災害時に非常用の電力としても活用出来る蓄電池の導入を促進すべく検討は必要であると考えております。今後は財政状況を鑑みながら、蓄電池への補助制度の新設のみならず、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、検討してまいりたいと考えております。以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

有難うございます。現在、家庭でも皆さん気になってると思いますが、電気代が高くなっているため、太陽光発電や蓄電池に興味がある人が増えていると思います。再生エネルギー導入も今がチャンスだと思いますので、今後ともよろしくお伺い致します。次の質問に入ります。

来庁者の駐車場とサービス向上についてお伺い致します。昨年6月より新庁舎に移動しましたが、本町住民の皆様より、いろいろなご意見を受けていると思います。この2月の町議会選挙で当選された、ここにいる議員の皆様も色々ご意見頂いたと思います。まず一番多かったのは、駐車場のことだと思います。住民の意見として「なんであなん狭いん」「対向するのが難しい」「入口が分かりにくい」「なんで公用車が平地で、私たちが立体駐車場なん」「車椅子を利用しようとすると、立体駐車場から遠い」など、「玄関に入っても、案内する人がおらん」「どこに行けば分からないのに、職員の方は忙しそうで聞きにくい」と、色々ご意見を頂きました。駐車場に関しては、慣れてもらえないと釈明することが多かったと思います。案内については、掲示板の場所の説明を致しました。

そこで質問に入ります。立体駐車場は、利用しやすいように改善する予定はありますか、お伺い致します。

総務課長（泉 知典）

門議員の立体駐車場の改善予定についてのご質問に答弁をさせていただきます。令和4年9月定例会での兼若議員の一般質問におきまして、駐車スペースが狭い点や階の連絡道路が急勾配な点につきましては、限られた敷地内に必要な駐車台数を確保する必要があったため、現在のような立体駐車場として整備していることから、駐車区画の再整備や勾配を改善することは施設全体の整備を伴うため、非常に困難と考えており、連絡道路の幅が狭く、コーナー部で対向出来ない点につきましては、連絡道路前に信号機を設置し、連絡道路部分は交互通行して頂く運用

としておりますので、今後も周知に努めてまいりたいと考えておりますと答弁させて頂きました。また、令和4年12月定例会での小川議員の一般質問におきまして、入口ゲートをセットバックする案を検討したいと答弁させて頂きました。この案につきましては、設計者に確認しましたところ、工事概要と致しましては地中に埋設しているループコイルを移動し、入口ゲート及び発券機を西側に約5メートル移動するようになり、この改修で駐車区画数が4台減少することになります。現在、周辺道路整備などを行っておりますので、今後の財政状況や周辺の状況なども考慮しながら、安全性と利便性の向上が可能となるよう改善してまいります。以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

再質問させていただきます。

周辺道路整備などを今、行っておりますが、そこには倉庫棟やまた、代替地など色々案が出ていると思います。今後、その土地を利用して駐車場に利用するなど考えられていますか、お伺い致します。

副町長（岡部 登）

ただ今の門議員の再質問に答弁をさせていただきます。駐車場の問題は、昨年、新庁舎に移って以降、改善することが最も必要な問題であるという認識をしておりましたが、年末に町長の方から来庁者の駐車場を公用車の駐車場に作れないかという指示があり、今現在検討を重ねております。財政状況も厳しい折、様々な課題をクリアしながら、一つ一つ皆様にとって不便を感じないような駐車場に出来ますよう解決してまいりたいと考えております。4月頃までには一定の道筋をお示しすることが出来ると思いますので、ご理解頂きますようお願い申し上げます、再質問の答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

有難うございます。ぜひ町民の利用しやすい駐車場の方、よろしくお願い致します。

次の質問です。庁舎入り口に案内係などを配置することは出来ますでしょうか。お伺い致します。

町長公室長（山内 剛）

門議員の庁舎入り口に案内係などを配置することについてのご質問に答弁をさせていただきます。庁舎内の各課の配置場所を表示しているフロアマップは、正面玄関ロビーや2階の階段、エレベーター前等に設置しておりますが、マイナンバーや確定申告などの手続のため、窓口が混雑している状況が続いており、初めて新庁舎に来られた方には、ご不便をお掛けしたことと思います。申し訳ありません。また、門議員におかれましては、フロアマップの場所を説明して頂き、有難うございます。現在、人員不足などにより、庁舎入り口に案内係などを配置すること

は難しい状況ですが、来庁者で行き先を迷われている方がおられましたら、積極的に職員から声を掛けさせて頂くことやフロアマップの設置場所の確認や周知方法などを検討して、安心して新庁舎に来て頂けるように努めたいと考えております。以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

有難うございます。次の質問に入ります。

旧庁舎の今後についてです。旧庁舎は、以前は多度津高校が購入する予定でしたが、その話はなくなり、今後解体は本町が負担となると思います。現状の本町の予算ではかなり厳しいと思います。しかし、大きな地震などが来れば崩壊する可能性もあります。今後の利活用するために色々と考えられていると思います。質問に入ります。今現在、どのような案をお考えでしょうか、お伺い致します。

総務課長（泉 知典）

門議員の旧庁舎の今後についてどのような案を考えているかについてのご質問に答弁をさせていただきます。旧庁舎は約50年間にわたり供用されたことで、老朽化が進み、今後、使用することは出来ない状態であるため、解体しなければなりません。旧庁舎の解体には議員のおっしゃるとおり、多額の費用が必要になる見込みです。跡地の周辺には多度津駅や幼稚園・小学校があり、多度津町のまちづくりにとって重要な資源の一つであるため、関係機関と十分に協議を行い、財政状況も鑑みながら、計画的に解体を行い、地域における公共の福祉の増進や地域社会への貢献等に繋がる活用方法を検討したいと考えております。以上、答弁とさせていただきます。

議員（門 秀俊）

有難うございます。

今回の一般質問では、新庁舎駐車場、旧庁舎をお伺い致しました。これは2月の町議会選挙で住民の方の意見が多かったことです。この問題は町民の方、住民の方が関心が強いと思いますので、今後とも色々な角度で検討して行って頂きたいと思います。

以上で、一般質問を終わらせて頂きます。有難うございました。